

小鳩政権一危機水域で崩壊加速

5・30

社民党、連立離脱を正式決定

5・31

A（世論調査）5・29～30 電話調査 有効回答 1106 人（62%）

①鳩山内閣一支持 17%、不支持 70%

②次の参院選で比例区への支持一民主 20%、自民 20%、公明 5%、共産 3%、社民 1%、みんな 9%…

③普天間移設の政府方針一評価 27%、評価せず 57%

④鳩山首相の5月末普天間決着の約束一守った 13%、守らなかった 78%

⑤普天間問題で鳩山首相は一辞任すべし 46%、辞任不要 45%

⑥社民・福島党首の罷免における同党首の対応一評価する 54%、評価しない 36%

⑦沖縄の米軍基地の整理縮小のため、一部を国内の他の地域に移すこと一賛成 50%、反対 34%

●→5・31M（世論調査）5・29～30 電話調査 1025 人回答（60%）

①鳩山内閣一支持 20%、不支持 67%、関心ない 12%

②政府の普天間移設方針一賛成 41%、反対 52%

③普天間移設の「県外」、「5月末決着」の約束を実現できなかったことで鳩山首相は一退陣すべき 58%、退陣不要 40%

④政治とカネ問題で小沢幹事長は一辞任すべき 73%、辞任不要 24%

⑤次の参院選の比例区での投票先一民主 22%、自民 21%、公明・共産 4%、社民 3%、みんな 14%

●5・31M（沖縄県民調査）一琉球新報との合同調査

5・28～30 電話調査 1026 人回答（65%）

①普天間の辺野古付近への日米移設合意一賛成 6%、反対 84%、DK10%

②日米安保条約について一維持すべき 7%、平和友好条約に改めるべき 55%、破棄すべき 14%、米含む多国間安保にすべき 10%、DK15%

③沖縄への米海兵隊の駐留一必要 15%、不要 71%、DK14%

④沖縄の在日米軍施設集中一現状のまま 5%、拡大すべき 1%、整理縮小すべき 50%、撤去すべき 41%、DK3%

⑤県や政府に最も取り組んでほしい沖縄の課題一米軍基地の縮小 22%、景気対策や経済復興 38%、年金・福祉など社会保障の充実 30%、文化・教育の振興 6%、DK5%

⑥仲井真知事一支持 57%、不支持 29%、関心ない 15%

⑦鳩山内閣一支持 8%、不支持 78%、関心ない 14%

●→5・31Y（世論調査）5・29～30 電話調査 1111人回答（63%）

①鳩山首相内閣一支持 19%、不支持 75%

②普天間移設についての日米合意一評価 30%、評価せず 58%

③普天間問題に関する鳩山首相の言動一問題 81%、問題ない 14%

④鳩山首相の普天間問題で一退陣すべき 59%、退陣不要 36%

⑤普天間めぐる社民・福島党首の罷免一当然 66%、そう思わない 25%

⑥次の参院選で普天間問題を判断材料にするか一する 41%、しない 53%

⑦民主小沢幹事長はカネ問題で一辞任すべし 75%、その必要はない 20%

⑧宮崎県の口蹄疫問題への政府の対応一評価 33%、評価せず 54%

●→5・31N（世論調査）5・28～30N、テレビ東京の電話調査、942件回答（59.7%）

①鳩山内閣一支持 22%、不支持 69%

②鳩山内閣の仕事振り一評価する 21%、評価しない 67%

③普天間移設方針一評価する 21%、評価しない 66%

●→5・31T（共同通信）5・29～30 電話調査、1033人回答

①鳩山内閣一支持 19.1%、不支持 73.2%

②普天間移設政府方針一評価 25.4%、評価せず 66.1%、DK8.5%

③普天間「公約」を果たせなかったことで鳩山首相は一首相を辞めるべき 51.2%、辞めなくてよい 44.4%

④小沢幹事長はカネ問題で一辞めるべし 74.9%、辞めなくてよい 20.3%

⑤宮崎県の口蹄疫への政府対応一評価 32.2%、評価せず 58.7%

- 6・1 子ども手当、支給始まる—北海道、新潟県、富山県の7町村—10年度は中学生以下の子ども1人当り月1万3000円(6・1M夕)／対象となる子ども—1735万人、支給総額は年2兆2554億円(6・1T夕)→来年度(11・3以降)は満額支給、年総額5兆4000億円(6・2A)
- 5・31 イスラエル軍、トルコ人道支援船強襲—トルコのガザ支援船6隻を銃撃、拿捕—少なくとも10人死亡、多数の負傷者、630人拘留
→国際社会から猛反発(6・1各紙朝刊)
⇒6・1 国連安保理、抗議の議長声明—イスラエルの武力行使に遺憾(6・2A)
→6・2H(主)「支援船攻撃—国際社会の願いに背く蛮行」

小鳩政権崩壊—ひたすら参院選対策に照準

- 5・31 鳩山首相、「信念をもって頑張る」と続投宣言(5・31Y夕)
⇒・鳩山首相、小沢幹事長、興石参院議員会長らと会談—5分で終わる
⇒5・31 郵政民営化見直し郵政改革法案、可決(衆院本会議—与党賛成)—審議1日のみで(6・1A)→6・21H(主)「異常国会—強権的運営は国会の自殺行為」→6・2A「民主強引国会立ち往生—ネット解禁・郵政・混乱続く」
→6・1M「首相進退小沢氏と協議へ—興石氏交え会談、参院民主—高まる退陣論」「首相と党にらみあい—首相民主幹部会談、改選議員怒り頂点—『小沢氏は退陣容認、役員会から期待』／Y「民主参院が退陣要求—首相は続投明言—小沢氏『一両日中に再会談を』」「『首相に責任』『でも時間ない』—民主改造組、悲痛な退陣論、小沢氏動向カギ—複数擁立区共倒れ危機」
⇒6・1 鳩山首相、小沢、興石氏と再会談—進退問題めぐって(6・2)
→6・2A「首相、際立つ強気—『小鳩で逃げ切り』図る、非小沢系の閣僚も支え—『首相vs興石』裁く小沢氏—民主改選組み、冷めた声も」「(社)「首相退陣論—これで逆風はかわせない」／M「権力闘争浮き彫り、『進退』結

論先送り―首相擁護の衆院、小沢氏動けず―辞任迫る参院」「自民、揺さぶ
り強める―『政権は死に体』」「結局、何も決まらない―『首相代えても…』
―続投崩さず、言葉濁す民主議員」／Y(社)「鳩山首相進退―民主党は密室
排し広く議論を」「(社)首相退陣論加速―『小鳩』双方に責任がある」

⇒6・1 鳩山首相、改めて続投意欲―『政策を大きく変えるために出発して
きたこの新政権にふさわしい形で、これからも行動していきたい』(首相公
邸前、記者団) (6・1A夕)

⇒6・1 鳩山首相、宮崎県訪問―口蹄疫被害の宮崎県、東国原英夫知事と会
談―現地対策本部を激励 (6・1A夕) →6・1Y夕「『今さら何しに…』―首
相、宮崎訪問―農家から批判の声」

⇒6・1 閣僚は「続投支持発言」―菅直人副総理「任期いっぱい4年間、
首相をしっかり務めていただきたいと言ってきた。その気持ちは変わって
いない」

／仙谷国家戦略相「(首相交代は) 全く想定していない」／枝野行政刷新相
「首相を支え、しっかりと(参院選を) 勝ち抜いていくことが大事だ」／
平野官房長官「『首相の進退』なんていう言葉が飛び交うこと自体おかしな
ことだ。参院選勝利のために、党内一致結束して頑張ることだ」／亀井金
融相「民主党は衆院選で大変な国民の支持を得ている政党だから、自信を
持って鳩山首相を支えて頑張ってもらいたい」 (6・1Y夕)

→6・2N「重要法案、軒並み黄信号―派遣・郵政、参院審議不透明に―首
相進退論が波乱要因」「民主の参院選出馬予定者―『首相続投なら惨敗』『退
陣は政治不信に』―結局先送りに危機感」

6・2 鳩山首相退陣、小沢幹事長も辞任 (両院議員総会)

→6・2A夕「鳩山首相退陣、小沢幹事長も辞任―普天間、政治資金で引責
―参院選7月11日のまま」「4日に新代表―菅氏が軸」「小鳩体制8ヵ月で
幕―政治とカネ―連托生―社民離脱、引き金に―郵政法案の成立厳しく―
『立場変わらず』社民・福島氏」「選挙目前に突然」

→6・3N「同時退場水面下で攻防―首相『刺し違え』選ぶ」「後継まず『本

命』名乗り、対抗場を探る動きー菅氏、前原氏と『駆け引き』ー小沢氏なおカギ、党内影響力巡り攻防」／H「裏切り居直り、国民が『怒』、鳩山首相辞任ー普天間、最後まで『日米合意』優先ー政治とカネ、幕引きの党利党略ー雇用・社会保障、財界路線へ迷走」「国民の心踏みつけー『何も変わらぬまま』辞任表明ー国民の声」「もう米国の勝手にさせない、基地ノーの世論ー日本列島に、沖縄で」「新基地拒否は不変ー首相辞任、沖縄・名護市町が表明」「これからも徹底抗議ー徳之島の伊仙町、大久保明町長」

6・3

各紙社説・論説

- A 「鳩山首相・小沢ダブル辞任ー『維新』の出直しに挑め」／編集委員・星浩「古い政治と決別できず」
- M 「鳩山首相退陣ー民主党は猛省し出直せ」／政治部長・小菅洋人「失敗から光明を」
- Y 「鳩山首相・小沢退陣ー脱『二重権力』で政策転換図れ」／政治部長・村岡彰敏「甘えと幻想の結末」
- N 「期待を失望に変えて去る鳩山政権の罪」／政治部長・宮本明彦「『失政9ヵ月』を生かせるか」
- T 「国民が置き去りだー鳩山首相の退陣表明」／政治部長・高田昌也「劣化した政治修復を」
- サ 「鳩山首相退陣ー国民に信を問うのが筋だ、これ以上国益を失う政治やめよ」／政治部長・乾正人「「小沢一郎」を踏み越えよ」
- H 「鳩山首相辞意表明ー辞めればすむ問題ではない」